

施設	幼稚園・保育所・保育園			小学校等			
期間 行事	1月	2月	3月 ・卒園式	4月 ・入学式・1年生を迎える会	5月 ・運動会	6月	
いねら	プログラムのねらい 幼稚園・保育所（園）等と小学校等の連携の推進「安心して 進んで学ぶ 元気な子ども」 「育ちのつながりを意識した先生」 (1)確実な引き継ぎ・継続的な支援 (2)交流活動の推進 (3)育ちのつながりを意識した指導						
幼児教育・小学校教育 のねらい	<b>幼児教育のねらい</b> <b>「生きる力」の基礎を育てる</b> ・生活習慣を身につける ・人とかかわる力を育てる ・豊かな心と意欲を育てる（三条市幼児教育推進プランより）			<b>【幼稚園教育指導要領・保育所保育指針及び各施設の指導計画】</b> 5領域の活動⇒健康・人間関係・言葉・環境・表現		<b>学校教育目標</b> <b>未来を拓き、力強く生きるための</b> 「確かな学力」「豊かな心・個性」 「健やかな身体」をもった三条っ子（三条市学校教育プランより）	
	<b>【小学校学習指導要領及び各小学校等の教育課程に基づいた1年生の学習内容】</b> 教科等⇒国語・算数・生活・音楽・体育・道徳・特別活動						
接続期に育てたい力と指導のポイント	I 生活する力	<b>I 環境の変化に適応する力 身辺自立や生活習慣に関する力</b>					
		① 一日の生活 時程	1日の流れを掲示し、見通しを持って行動できるようにする。 ・自分で理解できるような一日の流れを掲示し、見通しを持って行動できるようにする。 ・クラス全体で活動する時間、個々が主体的に活動する時間など、切り替えを意識していく。			・朝は体と心を目覚めさせる意味で簡単な体操・音読・合唱などを取り入れる。 ・1単位時間（45分）を1日の大きな流れの中で総合的に捉え、活動を構成していく。	
		② 身の周りの 始末	衣服の着脱、持ち物の整理整頓、清掃等身の回りの始末が一人で行えるようにする。 ・自分の荷物の整理・整頓をする機会を取り入れて、身に付けるようにする。			・道具類の整理の仕方を図示する等の工夫をし、子どもが自分でできるようにする。	
	③ 給食・ 排せつ	給食の時間を意識して一定の時間内で食べられるようにする。 ・簡単な盛り付けなどを体験する。 家庭の協力を得ながら、決まった時間にトイレに行けるようにする。			・子どもが行う配膳は、簡単なものから始め、段階を踏んで指導していく。		
	II 関わる力	<b>II 様々な人と関わりながら自己を発揮し、共に生活を作り出す力</b>					
		④ 規範意識	安全・きまりなどの規範意識を高め、家庭と協力しながらできるようにする。 ・様々な葛藤の体験をし、子ども自身が考え、きまりや約束の大切さに気付いていくように援助する。 ・家庭の協力を得ながら、挨拶ができるようにする。 ・いろいろな挨拶を指導する。（幼保小共通）			・生活や遊びのルールを最小限にし、徐々に意識して行動できるようにする。	
		⑤ 聞く・話す・ 伝え合う	話をする人の方を向き、集団で話を聞いたり、大勢の前で話をしたり、相談したりできるようにする。 ・1日の中で読み聞かせの時間を多く取ったり、クラスやグループで話し合う機会を多くしたりする。			・話を聞く隊形（皆で集まる、いすだけで座るなど）を工夫したり、話形を掲示したりすることにより、聞いたり話したりできるようにする。	
	⑥ 先生や友達 との関係づ くり	先生と子どもの信頼関係を築き、友達との協同的な経験を通して仲間意識を育てていく。 ・ルールに沿って動いたり、合図を聞いて動いたりするなど、担任と集団という中で行動できるようにする。 ・トラブルは子ども同士で解決し、気持ちの立て直しができるよう援助する。			・担任が意図的・計画的に子ども一人一人と関わる機会を積極的に設け、信頼関係を築く。 ・学びや遊びの様々な場面を活用して、友達との人間関係を広げ、深めていく。		
	III 学ぶ力	<b>III 学習の基礎となる興味・関心や意欲、能力など</b>					
		⑦ 保育室・教室 環境	学習や活動に興味をもてるように、机椅子の配置を工夫したり、保育室・教室の掲示物や道具を準備したりする。 ・机の並べ方を活動に応じて変えたり、床に座って聞いたりする。（幼保小共通）				
⑧ 学びの芽生 え		学びに対する意欲を大切に、自然現象や、文字・数字に関する経験を増やす。 ・まわりの植物・虫の様子などから季節の変化を感じ取られるようにする。 ・名前や物の名前の表示・カルタ遊びなどから、文字や数字に関する意欲を育てる。			・できるようになったことを認め、励まし、学ぶ楽しさを味わえるようにする。 ・体験活動、操作活動、劇化、動作化などを取り入れ、興味や関心を高めるように工夫する。		
⑨ 運動		運動遊びへの興味・関心を高め、やればできる喜びを味わえるようにする。 ・運動遊びを楽しみ、繰り返しチャレンジできるようにする。			・チームになり、ルールを守りながらを運動する楽しさを味わえるようにする。		
⑩ 表現	創作や音楽で自分のイメージに向かって活動できるようにする。 ・イメージを実現できるように、試行錯誤しながら作品作りを楽しむようにする。 ・みんなで歌ったり、簡単な楽器で表現したりして、音楽の楽しさを感じるようにする。			・いろいろな素材に親しみ、作品作りを楽しめるようにする。 ・みんなで歌を歌ったり、身体表現したり、簡単な楽器を演奏したりして、音楽の楽しさを感じるようにする。			
幼保小連携	子ども	・幼保小交流活動（各学園区毎の交流施設で計画・実施） ・幼保・保保交流活動（幼保主催） ・就学時健診等での小学校等体験（入学予定学校での交流）			・幼保小交流活動（各学園区毎に交流施設で計画・実施）		
	教職員	・幼保小連携合同実務者会議・合同研修会（教育委員会主催） ・幼保小情報交換会・連絡会（入学予定校） ・幼保小連携会議（学園区） ・幼保小保育参観（学園区） ・小学校教員の保育士体験（学園区）			・幼保小連携合同実務者会議・合同研修会（教育委員会主催） ・学習参観（小学校等） ・幼保小連携会議（学園区） ・情報交換会（小学校等）		
連携 家庭との	<b>支援が必要な子の確実な引き継ぎ・継続的な支援</b> 年中児発達参観・個別の発達支援計画・年長児訪問・1年生訪問・発達ルーム個別支援計画						
	・「わくわくチャレンジ」の配布により幼保小連携について知らせる。（教育委員会配布） ・家庭での「20のチャレンジ」について説明する。（教育委員会） ・就学時健診や入学説明会等で小学校生活について説明する。（各小学校等）			・保護者の不安に適切に対応する。（幼保小） （特に就学支援等：幼保・教育委員会・小学校等） ・家庭教育講座を実施する。（教育委員会）			
	・学校・学年・学級だより等で小学校での生活を伝える（小学校等） ・学習参観・懇談会・家庭訪問等を実施する（小学校等） ・保護者の不安に適切に対応する（小学校等）						